



# じょ 怒心

令和7年6月4日 6月全校朝会

校長先生のもとには、各クラスのよいことやいけないことなどいろんな話が入ってきます。

校長先生が、とても心が痛み、とても悲しく、とても残念に思うのは、

友だちに対して、いやなことをしている人がこの東野小学校にいるということです。

友だちやほかの学年の人など、自分以外の人に対して、  
いじわるしたり、悪口を言ったり、いやがらせをしたり、困らせたり、  
いたずらしたり、命令したり、ものをとったり、ものをかくしたり、  
仲間外れにしたり、しつこくせまったり、たたいたり、けったりする人がいるのです。



そういうことをされた人は、たいへん困っています。

そして、そういうことをされた人のお母さんやお父さん、家族の人がとても心配しています。

ですので、もし、やっている人がいたら、もうやめてください。

そして、これからは、絶対にしないでください。



この世の中は、  
自分一人だけで  
生きているわけでは  
ありません

お家には、家族がいて、  
学校では、  
同じクラスの友だちや  
ほかの学年の子がいて、

社会に出ると、  
さらに多くの人と  
かかわって、  
みんな生きています

自分一人だけでは  
生きていけません

大切なことは、人と人が協力し合い、助け合っていくことが必要だと思ひます。

そこで、みなさんには、

人の気持ちを考えた行動や思いやりの気持ち、思いやりの心をもってほしいと思ひます。

2500年以上前に  
書かれた書物に  
「論語」という  
書物があります

古代中国の  
思想家で、哲学者である  
「孔子」の教えを  
弟子たちがまとめたものです

ある日、  
一人の弟子が  
孔子先生に  
質問しました

人が生きるうえで、  
一番大事なことを  
一言でいうとしたら  
なんですか？

孔子は  
こう答えました

それは、  
「恕」(思いやりの心)  
だよ

自分が  
してほしくないようなことを  
人に  
してはいけません

自分が  
されていやなことを  
人に  
してはいけません

2500年以上前から、  
思いやりの心は、人が生きる上で、  
とても大事だったことがわかります。

最後にもう一度  
お願いします

思いやりの心をもって  
生活・行動してください

